

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「インベスコ 米国ハイ・イールド債券ファンド(毎月決算型)」は、このたび、第12期の決算を行いました。

当ファンドは米国の企業が発行するハイ・イールド債券等を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



インベスコ

米国ハイ・イールド債券ファンド(毎月決算型)

追加型投資 / 海外 / 債券



## 交付運用報告書

第7期(決算日 2017年1月23日)

第8期(決算日 2017年2月22日)

第9期(決算日 2017年3月22日)

第10期(決算日 2017年4月24日)

第11期(決算日 2017年5月22日)

第12期(決算日 2017年6月22日)

作成対象期間(2016年12月23日～2017年6月22日)

第12期末(2017年6月22日)	
基準価額	11,385円
純資産総額	45百万円
第7期～第12期	
騰落率	△1.7%
分配金(税込み)合計	50円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンド一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100

(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <http://www.invesco.co.jp/>

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

（2016年12月23日～2017年6月22日）



第7期首：11,634円

第12期末：11,385円（既払分配金（税込み）：50円）

騰落率：△1.7%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびBloomberg Barclays U.S. Corporate High Yield 2% Issuer Cap Index（円換算ベース）は、期首（2016年12月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) Bloomberg Barclays U.S. Corporate High Yield 2% Issuer Cap Index（円換算ベース）は、参考指数です。参考指数の詳細は13ページをご参照ください。

## ○基準価額の主な変動要因

## [上昇要因]

- ・米国の企業が発行するハイ・イールド債券等を実質的な主要投資対象としているため、実質的に保有する債券からの高水準のインカム・ゲイン（利息収入）が基準価額の上昇要因となりました。
- ・トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用を行い、キャピタルゲインの獲得を目指した結果、中長期ゾーンの米国国債利回りの低下（債券価格は上昇）とクレジット・スプレッドの縮小により、実質的に保有する債券の価格が全般的に上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

## [下落要因]

- ・実質外貨建資産について対円での為替ヘッジを行わなかったため、米ドルが対円で下落したことが基準価額の下落要因となりました。

## 1万口当たりの費用明細

(2016年12月23日～2017年6月22日)

項 目	第7期～第12期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	円 45 ( 3 ) (40) ( 2 )	% 0.393 (0.027) (0.350) (0.016)	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 費 用 ) ( そ の 他 )	6 ( 4 ) ( 2 ) ( 0 )	0.054 (0.038) (0.016) (0.000)	(b) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等 その他は、外国有価証券に係る税金および信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	51	0.447	
作成期間の平均基準価額は、11,417円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2012年6月22日～2017年6月22日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) Bloomberg Barclays U.S. Corporate High Yield 2% Issuer Cap Index（円換算ベース）は、設定時の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 当ファンドの設定日は2016年7月1日です。

	2016年7月1日 設定日	2017年6月22日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,385
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	50
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	14.4
Bloomberg Barclays U.S. Corporate High Yield 2% Issuer Cap Index (円換算ベース) 騰落率 (%)	—	21.3
純資産総額 (百万円)	40	45

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 設定日の基準価額は、設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、騰落率は設定当初との比較です。
- (注) Bloomberg Barclays U.S. Corporate High Yield 2% Issuer Cap Index（円換算ベース）は、参考指数です。参考指数の詳細は13ページをご参照ください。
- (注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。

## 投資環境

（2016年12月23日～2017年6月22日）

## ＜米国国債利回り＞

2年 1.34%（前作成期末1.19%）      5年 1.76%（同2.04%）

10年 2.15%（同2.55%）

## ＜対円為替レート＞

米ドル／円 111円14銭（前作成期末117円72銭）

※上記は当作成期末の数値です。

## ＜債券市場＞

当作成期間中、米国10年国債利回りが低下した上、クレジット・スプレッドが縮小したことから、ハイ・イールド債券の価格は上昇しました。①米国大統領選挙に勝利したトランプ氏の景気刺激的・財政拡張的な政策運営観測、②2008年の金融危機以降で2度目となる利上げの実施、③2017年の利上げペース加速見通し一などを受け、米国10年国債利回りは大きく上昇（債券価格は下落）して作成期初を迎えました。その後は、トランプ政権の減税を含む政策実行力を見極めたいとの見方が強まり、米国10年国債利回りは一進一退の推移となった一方、米国経済が底堅く推移するとの見方からハイ・イールド債券市場は堅調に推移しました。2017年3月に再度利上げが実施されると、米国10年国債利回りはいったんは2.6%を超える水準まで上昇し、ハイ・イールド債券市場もやや軟調な展開となりました。しかしその後は、地政学リスクやフランス大統領選挙の行方が警戒される局面では国債利回りの低下により、フランス大統領選挙でのマクロン氏勝利で欧州の政治リスク懸念が後退した局面ではクレジット・スプレッドの縮小により、ハイ・イールド債券市場は堅調に推移しました。トランプ政権の「ロシア・ゲート」疑惑の浮上で減税を含む主要経済政策の実現時期が遠のいたとの見方も米国国債利回りのさらなる低下を促しました。ただし、在庫増加を嫌気して原油価格が下落したことなどから、ハイ・イールド債券市場では当作成期末にかけて若干の調整が見られました。

当作成期間中、ハイ・イールド社債市場は、セクター別では一部のエネルギーセクターやヘルスケアセクターが、また信用格付別ではCCC格銘柄のリターンが好調となりました。

## ＜為替市場＞

当作成期間中、米ドルは対円で下落しました。作成期初は、米国10年国債利回りの上昇に呼応するように米ドルは対円で上昇したものの、2017年に入り、①トランプ大統領による米ドル高けん制発言、②3月に再度の利上げが実施されたものの、利上げペースの加速が示されなかったこと、③フランス大統領選挙での極右候補の躍進への警戒感一などから米ドルは円に対する上昇幅を削る展開となりました。その後は、トランプ政権の減税政策の発表やフランス大統領選挙の第1回投票の結果で極右が躍進しなかったことを受けた安堵感などから4月中旬より上昇基調となりましたが、米国で弱含みの経済指標が発表され、政治的な混乱もあったことなどから米ドルは対円で再び下落基調となり、作成期末を迎えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（2016年12月23日～2017年6月22日）

インベスコ 米国ハイ・イールド債券 マザーファンド（以下、マザーファンドといいます。）を高位に組み入れ、主として米国の企業が発行するハイ・イールド債券等に実質的に投資しました。残余部分はインベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）（以下、マネープール・ファンドと

います。)を組み入れ、安定した収益の確保を図りました。また、実質外貨建資産については、対円で為替ヘッジは行いませんでした。

マザーファンドでは、主としてルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ USハイ・イールド・ボンド・ファンド クラスC-MD投資信託証券（米ドル建て）に投資を行いました。同外国投資信託では、主として米国の企業が発行するハイ・イールド債券等に投資を行いました。具体的には、投資対象銘柄の流動性に注意を払いつつ、ポートフォリオの銘柄入れ替えを行いました。信用格付別では、BB格、B格を中心のポートフォリオとしていますが、CCC格以下は参考指数であるBloomberg Barclays U.S. Corporate High Yield 2% Issuer Cap Index（円換算ベース）と比較して低めの組み入れとしました。また、セクター別では、一部のエネルギーセクターや小売セクターについては参考指数よりも低めの組み入れとしました。

マネープール・ファンドでは、資産規模などを勘案し、短期金融商品による運用を行いました。

### 当ファンドのベンチマークとの差異

（2016年12月23日～2017年6月22日）

当作成期の分配金再投資基準価額騰落率は $\Delta 1.7\%$ となり、参考指数であるBloomberg Barclays U.S. Corporate High Yield 2% Issuer Cap Index（円換算ベース）の騰落率 $\Delta 0.9\%$ を下回る結果となりました。

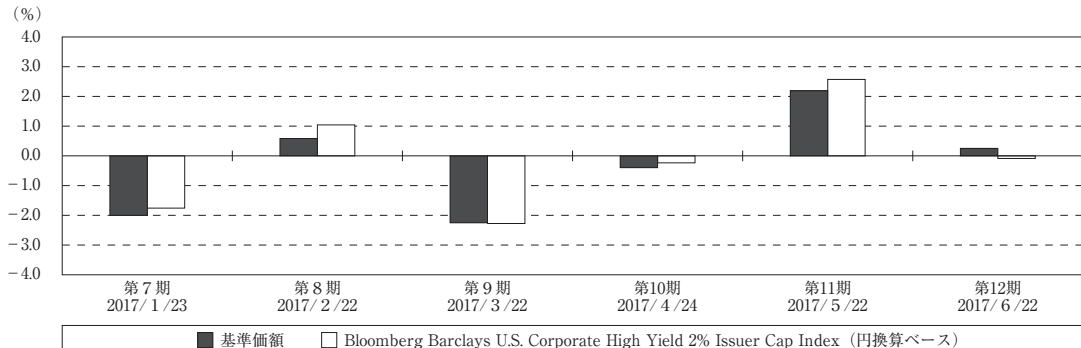
#### [プラス要因]

- ・小売セクターや金属・鉱業セクターの組み入れを参考指数以下としたことや、通信（無線）セクターや住宅建設セクターにおける銘柄選択効果がプラスに寄与しました。

#### [マイナス要因]

- ・信用格付けがCCC格以下の組み入れを参考指数以下としていたことが、マイナスに影響しました。
- ・一部のエネルギーセクターの組み入れを参考指数以下としたことや、そうしたエネルギーセクターや食品・飲料セクターにおける銘柄選択がマイナスに影響しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) Bloomberg Barclays U.S. Corporate High Yield 2% Issuer Cap Index（円換算ベース）は、参考指数です。参考指数の詳細は13ページをご参照ください。

## 分配金

（2016年12月23日～2017年6月22日）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向および残存信託期間などを勘案し、第7期から第11期は見送り、第12期は1万口当たり50円（税込み）とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期	第12期
	2016年12月23日 ～2017年1月23日	2017年1月24日 ～2017年2月22日	2017年2月23日 ～2017年3月22日	2017年3月23日 ～2017年4月24日	2017年4月25日 ～2017年5月22日	2017年5月23日 ～2017年6月22日
当期分配金	—	—	—	—	—	50
（対基準価額比率）	—%	—%	—%	—%	—%	0.437%
当期の収益	—	—	—	—	—	39
当期の収益以外	—	—	—	—	—	10
翌期繰越分配対象額	8,610	8,662	8,699	8,737	8,776	8,766

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

マザーファンドを高位に組み入れ、主として米国の企業が発行するハイ・イールド債券等に実質的に投資します。残余部分はマネープール・ファンドを組み入れ、安定した収益の確保を図ります。実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わない方針です。

マザーファンドでは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ USハイ・イールド・ボンド・ファンド クラスC-AD投資信託証券（米ドル建て）およびクラスC-MD投資信託証券（米ドル建て）に投資を行います。同外国投資信託では、主として米国の企業が発行するハイ・イールド債券等に投資を行います。具体的には、流動性を重視しながら組入銘柄の見直しを行っていきます。短期的な調整局面では、割安な優良銘柄に厳選して投資します。一部割安で放置されていると判断した銘柄への投資機会を捉えるため、引き続き慎重な銘柄選定を行います。信用スプレッドの拡大・縮小の局面に応じて、より大きなメリットを受けるセクターを見極め、配分を決定していく方針です。

マネープール・ファンドでは、円貨建ての短期公社債および短期金融商品を中心に運用を行います。

## お知らせ

該当事項はございません。

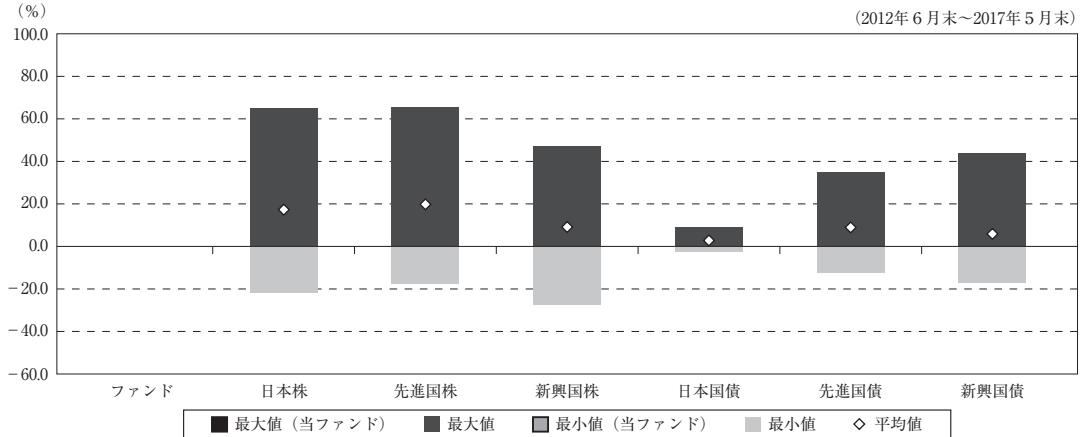
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2026年6月22日まで	
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として米国の企業が発行するハイ・イールド債券等を実質的に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の着実な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	インベスコ 米国ハイ・イールド債券 ファンド (毎月決算型)	「インベスコ 米国ハイ・イールド債券 マザーファンド」および「インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）」を主要投資対象とします。
	インベスコ 米国ハイ・イールド債券 マザーファンド	別に定める投資信託証券*へ投資し、主として、米国の企業が発行するハイ・イールド債券等を実質的に投資します。 ※別に定める投資信託証券とは、ルクセンブルグ籍外国投資法人インベスコ USハイ・イールド・ボンド・ファンド クラスC-AD投資信託証券（米ドル建て）およびクラスC-MD投資信託証券（米ドル建て）です。
	インベスコ マネープール・ファンド (適格機関投資家私募投信)	主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として米国の企業が発行するハイ・イールド債券等を実質的に投資します。</li> <li>・トップダウンとボトムアップを融合したアクティブ運用を行い、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。</li> <li>・実質外貨建資産について、原則として、対円での為替ヘッジを行いません。</li> </ul>	
分配方針	原則として毎月の決算時（毎月22日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して分配を行います。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合があります。	



## （参考情報）

### ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	—	17.3	19.8	9.1	2.8	8.9	5.9
最大値	—	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	—	-22.0	-17.5	-27.4	-2.4	-12.3	-17.4

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年6月から2017年5月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。なお、当ファンドの騰落率につきましては、運用期間が1年未満であるため掲載しておりません。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

### 《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P13の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

（2017年6月22日現在）

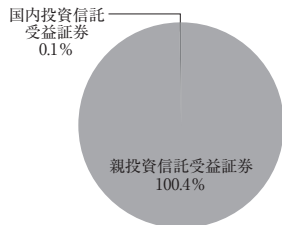
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第12期末
	%
インベスコ 米国ハイ・イールド債券 マザーファンド	100.4
インベスコ マネーブール・ファンド（適格機関投資家私募投信）	0.1
組入銘柄数	2銘柄

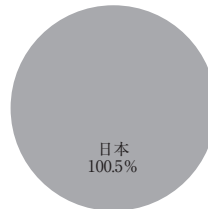
（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

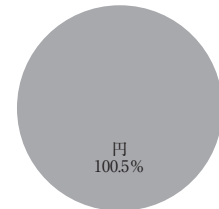
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

### 純資産等

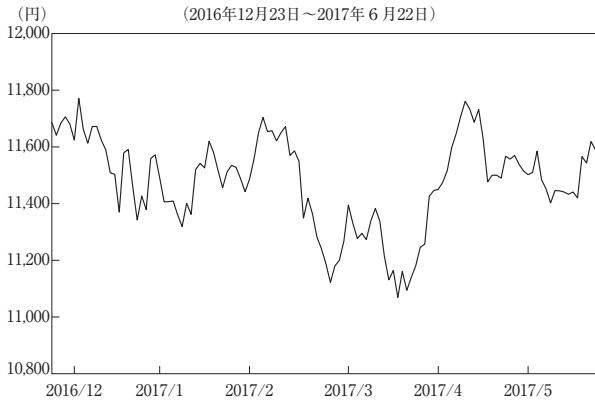
項目	第7期末	第8期末	第9期末	第10期末	第11期末	第12期末
	2017年1月23日	2017年2月22日	2017年3月22日	2017年4月24日	2017年5月22日	2017年6月22日
純資産総額	45,602,400円	45,866,922円	44,830,457円	44,651,423円	45,627,293円	45,540,165円
受益権総口数	40,000,000口	40,000,000口	40,000,000口	40,000,000口	40,000,000口	40,000,854口
1万円当たり基準価額	11,401円	11,467円	11,208円	11,163円	11,407円	11,385円

\* 作成期間（第7期～第12期）中における追加設定元本額は854円、同解約元本額は0円です。

## 組入上位ファンドの概要

## インベスコ 米国ハイ・イールド債券 マザーファンド

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2016年12月23日～2017年6月22日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、11,491円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## 【組入上位ファンド】

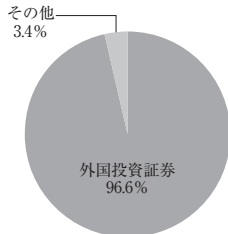
(2017年6月22日現在)

銘柄名	第2期末
インベスコ USハイ・イールド・ボンド・ファンド クラスC-MD	96.6%
組入銘柄数	1銘柄

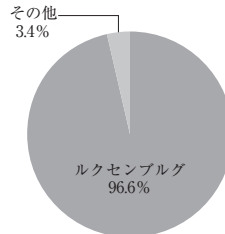
(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

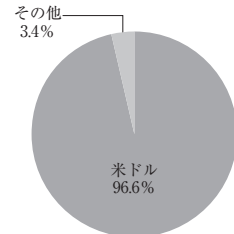
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

（参考情報） ルクセンブルグ籍外国投資法人  
インベスコ USハイ・イールド・ボンド・ファンド

「インベスコ 米国ハイ・イールド債券 マザーファンド」が主要投資対象としている「インベスコ USハイ・イールド・ボンド・ファンド」の直近の情報は以下の通りです。

【組入上位10銘柄】

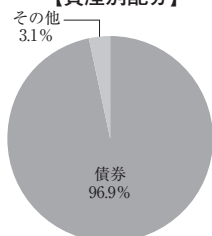
（2017年2月28日現在）

	銘柄名	種別	比率
			%
1	Altice Luxembourg SA 7.75% USD 15/05/2022	債券	1.8
2	DISH DBS Corp 5.875% USD 15/11/2024	債券	1.6
3	CSC Holdings LLC 6.75% USD 15/11/2021	債券	1.2
4	AES Corp/VA 5.5% USD 15/04/2025	債券	1.2
5	Sprint Corp 7.25% USD 15/09/2021	債券	1.2
6	Ally Financial Inc 5.125% USD 30/09/2024	債券	1.2
7	CCO Holdings LLC / CCO Holdings Capital Corp 144A 5.75% USD 15/02/2026	債券	1.1
8	First Data Corp 7% USD 01/12/2023	債券	1.0
9	Boyd Gaming Corp 6.875% USD 15/05/2023	債券	1.0
10	SFR Group SA 6% USD 15/05/2022	債券	1.0
	組入銘柄数		214銘柄

（注）比率は、純資産に対する割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

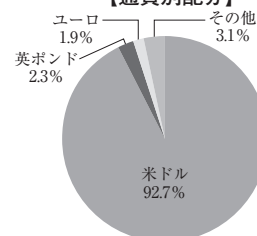
【資産別配分】



【国別配分】

必要な情報が開示されていません。

【通貨別配分】



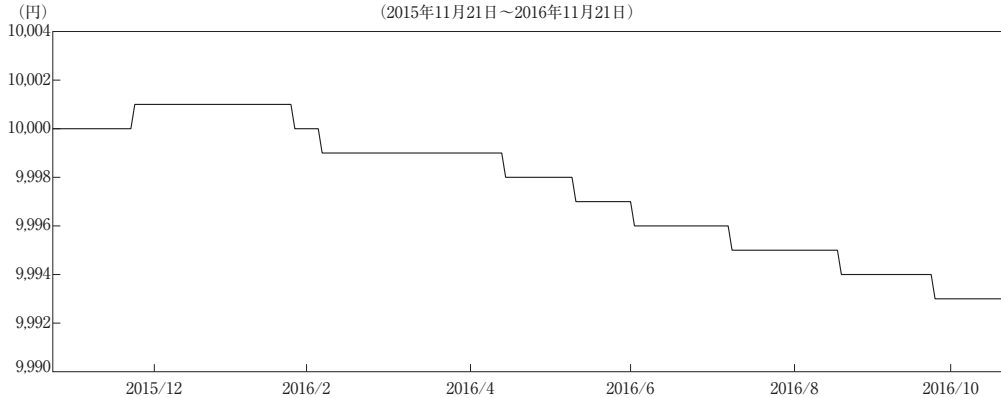
（注）比率は、純資産に対する割合です。

（注）その他には現金等を含む場合があります。

インベスコ マネープール・ファンド（適格機関投資家私募投信）

【基準価額の推移】

(2015年11月21日～2016年11月21日)



【1万口当たりの費用明細】

(2015年11月21日～2016年11月21日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	0円 (0) (0) (0)	0.000% (0.000) (0.000) (0.000)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、 法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種資料の送付、口 座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価 ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の 実行等の対価
(b) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	1 (1)	0.009 (0.009)	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理に要するその他の費用等
合 計	1	0.009	
期中の平均基準価額は、9,997円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2016年11月21日現在)

2016年11月21日現在、有価証券等の組み入れはございません。

## ＜当ファンドの参考指数について＞

当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてBloomberg Barclays U.S. Corporate High Yield 2% Issuer Cap Index（円換算ベース）を掲載しています。当該参考指数は、基準日前営業日のBloomberg Barclays U.S. Corporate High Yield 2% Issuer Cap Index（米ドル・ベース）に基準日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場仲値）を乗じ、設定日（2016年7月1日）を10,000として、当社で独自に指数化したものです。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

### ○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIXは、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄の株価を対象として算出した指数です。TOPIXは、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、東京証券取引所が有しています。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ○MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

### ○NOMURA - BPI国債

NOMURA - BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA - BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

### ○シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、Citigroup Index LLCが開発した日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数で、著作権、商標権、知的財産権、その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

### ○JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI - EMグローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2017, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.